

科目名	日本赤十字社救急法 A							年度	2025
英語科目名	Japan Red Cross First Aid A							学期	通年
学科・学年	スポーツ健康学科 サッカーコース 1年次	必／選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	日本赤十字社救急法救急指導員	教員の実務経験		有	実務経験の職種		救急指導員		
【科目の目的】 資格の意義を理解し、事故の防止に努めるとともに、怪我人や急病人に対して救急法を実践する知識と技術の習得を目的とします。また怪我人や急病人に対してだけでなく、病気や事故、災害などから自分自身を守り二次事故（災害）を起こさぬ行動ができる人材を育成します。そして日常生活において、心停止の予防はもちろん、事故や災害時に状況を迅速に判断し、スムーズな救命が行える知識と技術の獲得が目的です。									
【科目の概要】 日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。									
【到達目標】 日本赤十字社救急法救急員の資格取得をめざします。一次救命処置から始まり、きず・骨折の手当など、日常生活で起こりうる事故や災害時の正しい対処や処置の方法を習得します。また自分自身においても二次事故（災害）の被害にあわないよう状況判断や、的確な指示をするための知識や技術の獲得をめざします。 A. 試験に合格できる理論を身につけている B. 試験に合格できる基礎技術を身につけている C. 基礎理論・基礎技術を実生活で応用することができる									
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができません。講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにしてください。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけた場合は単位取得を認めません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	理論を十分に理解し、覚え、試験合格		理論を理解し、覚え、試験合格		理論を理解し、概ね覚え、試験合格				
到達目標 B	基礎技術がしっかり身に付き、試験に合格		基礎技術が概ね身に付き、試験に合格		基礎技術が分かり、試験に合格				
到達目標 C	実際に活用する事を想定でき、基礎理論・技術を応用的に展開できる		実際に活用する事を少しは想定でき、基礎理論・技術を応用的に展開できる		実際に活用する事を少しは想定でき、セミナー内容を実施できる				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 赤十字救急法講習教本、赤十字救急法基礎講習教本									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

